



三谷っ子



加賀市立三谷小学校長 奥村 仁美

ようやく秋の訪れが・・・

10月に入り、やっと暑さから解放され朝晩はひんやりとしてきましたが、日中は例年のない気温の高さに戸惑う今日この頃です。それでも学校では、5、6年生が稲刈り、2年生がサツマイモの収穫をすることができました。校庭の木々の葉も色づきようやく秋を感じられるようになりました。子供たちは運動会を終え、落ち着いて学習に向かっています。地域の方には、広報「三溪」でもお知らせしましたが11月1日に授業参観がありますので、よろしければ参観ください。稲刈りや芋掘りについてはホームページにも載っていますのでご覧ください。

地域の先生に感謝！

コミュニティ・スクールの運営の中で、コーディネーターの小谷さんが地域の方を支援員として要請し、授業で子供たちが教えてもらっています。

3,4年生は、総合的な学習で三谷地区の自然に興味をもち山野草や生き物について学習しています。今回は曾宇町で川遊びを体験しました。ウグイやエビをとって、昔の川で遊んだ様子をお聞きすることができました。

5,6年生は、家庭科の裁縫を教えていただいています。安全に作業できることが一番重要で、特に5年生は初めてのミシンを使っての製作なので大変助かっています。



児童引き渡し訓練(10月17日)

三谷地区で土砂崩れが発生し、学校周辺の土砂崩れの危険性があるという想定で、保護者の方に迎えにきていただき下校する訓練を行いました。子供たちは事前に土砂災害に関する動画を見て、土石流や地すべりの危険を知り、日頃からの備えや訓練の大切さについて考えました。学校では火災や地震や不審者から身を守る訓練も行っていて、「自分の命は自分で守る」を合言葉にしています。近年、自然災害が続き本当に心配ですが、いざというときに落ち着いて行動できるように心がけたいと思います。



保護者の皆様、引き渡し訓練にご協力いただきありがとうございました。熊対応にもご配慮くださり子供たちは安全に登下校できています。加賀市の防災メールの登録が未だの方は、登録をお願いします。学校からお知らせするよりも早く情報を得られるのでよいと思います。

縦割り学年交流 「できたこと プチ発表会」 (10月18日)

今回の縦割り交流は、各学級の学習発表を見合いました。見てもらう相手がいることで主体的に頑張る意欲がもてます。上手なところを認めてもらうことで自己肯定感をもつことができます。学年間で声を掛け合い、さっと集まりプチ発表会ができることは小規模校の強みです。異年齢の仲間と関わり、自分をお手本にしてもらう対象があるとより自己肯定感が高まります。「すてきだったよ。」「あんなふうになりたい。」という感想を交わし合い、みんながいい気持ちになれたすてきな時間でした。



高学年の器械体操



発表を見た後の感想交流



低・中学年の合奏

